

学校と育成会が協働し、結び、育てる子供たちと地域

長野県佐久市		● 活動名 中佐都小CS（信州型コミュニティスクール）応援団		● 関係する学校名 佐久市中佐都小学校	
開始年度	平成 25 年度	学級数	14 学級	児童・生徒数	324 人
活動内容	<input type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 環境整備 <input type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input checked="" type="checkbox"/> その他（児童の健全育成活動）				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 19 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 6 人	連携団体・企業等	中佐都青少年健全育成会
ボランティアの数	登録人数 150 人	属性	地域住民		
参考 URL	http://nakasato.sakushi.ed.jp/				
● 連絡先	佐久市中佐都小学校			☎ 0267-67-3418	

● 体制図



● 活動の概要・経緯

中佐都小学校では育成会との結びつきを大切にした取組が展開されている。中佐都青少年健全育成会は、田園地帯の中佐都地区で都市化が進み始め、青少年非行数が2桁と危機感をつのらせる中、昭和56年に発足した。「子どもを守る安心の家」や「標語表彰」の取組、「球技大会」や「放水みこし、放水綱引き、魚のつかみ取り大会」、「お兄ちゃんお姉ちゃん交流」などの行事を行い、長年の活動が地域になくはならない行事として位置付けている。現在では学校と育成会がこれらの行事を協働して行っている。「子どもは地域の宝。地域ぐるみで子どもを育てよう」という中佐都の地域性が、学校に日常的に支援の手が入る基盤となっている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

中佐都小学校と育成会による活動は、年間を通して行われる。中でも夏に行われる「放水みこし、放水綱引き、魚のつかみ取り大会」と、冬に行われる「お兄ちゃんお姉ちゃん交流」の2つが特徴的である。かつては休耕田を利用して、おみこしと綱引きをどろんご祭と称して行っていたが、数年前から消防団の放水の中、みこしかつぎと綱引きが行われている。その後は、ニジマスのつかみ取りや塩焼きしたニジマスを食べるなど、楽しい夏のひとときを多くの参加者が共有した。また、校区内の寺院で1月に行われた「お兄ちゃんお姉ちゃん交流」は、5年生と来入児が2人1組となり、5年生は最高学年としての決意を、来入児は4月からの学校生活への期待を込めて、一緒に鐘をつく。その後は地域の大人たちが見守る中、縁起物の餅つきを力を合わせて行う。またこれらの活動には小中学生の保護者が行事担当として位置付けており、ボランティアとして活動を支えている。

【実施にあたっての工夫】

中佐都青少年健全育成会には「次代を担う青少年の健全育成に協力しよう」「子どもをめぐる環境の浄化に努力しよう」「地域社会の連帯で少年の非行を防止しよう」「親が模範となり自信を持って子どものしつけをしよう」との4つのスローガンがあり、これらのスローガンのもと、行事には学校職員も役員として計画段階から参画し、学校と育成会が協働して様々な活動を行っている。また、区長会やPTA、保育園、JA、防犯協会、消防団など、地域の様々な機関と連携していくことで活動がゆたかになり、未就学児から中学生までの地域のすべての子供の「たくましく生きていく力」「人を大切にする心」の育成を願い、地域ぐるみによる取組が展開されている。

● 事業を実施しての効果・成果

昭和56年から始まった育成会の取組は36年経った今でもつづけて行われている。このことにより、当時の子供が現在は保護者として活動を支え、我が子の成長を地域ぐるみで見守る中佐都の地域性に感謝の気持ちと喜びを感じている。また、中佐都は様々な行事があるので、外に出た人が「中佐都は子育てがしやすい」、と再び中佐都に戻ってくる家庭が多いという。行事をただこなすのではなく、活動の意味や目的を持って、よく考えられた活動が展開されている。

● その他

10名の学習支援ボランティアが日常的に教室に入って学習支援をしている。また、校外学習の引率や朝の時間の個別学習支援、宿題の丸付け支援等も進んで行っている。さらに、3団体31名が年間を通して読み聞かせを行っている。



中佐都消防団による放水



4月からお勉強、がんばります（お兄ちゃんお姉ちゃん交流）

ポイント

体系的な組織と事業の実施体制が日常の活動を支えている様子が良く伝わってきます。